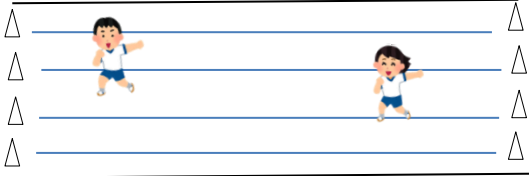
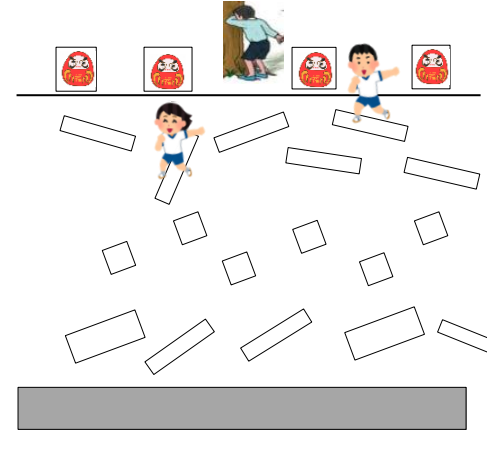
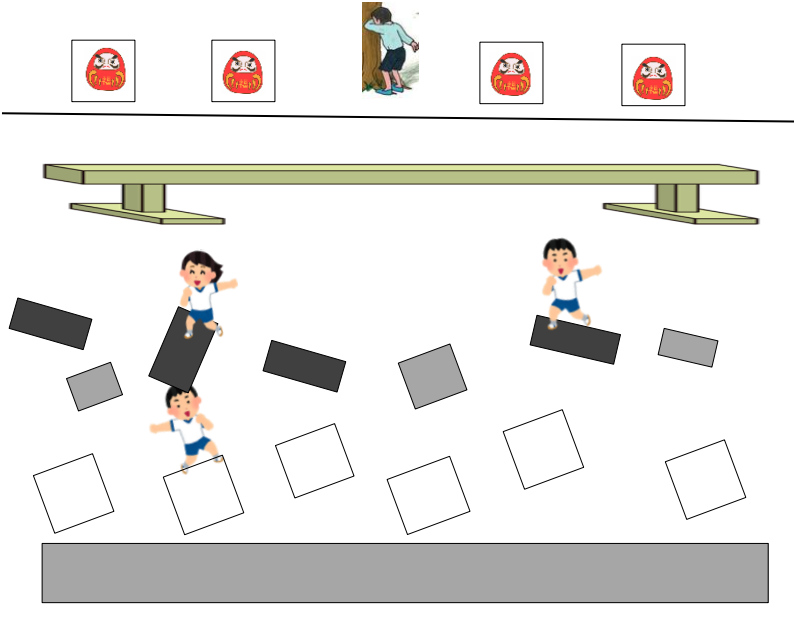
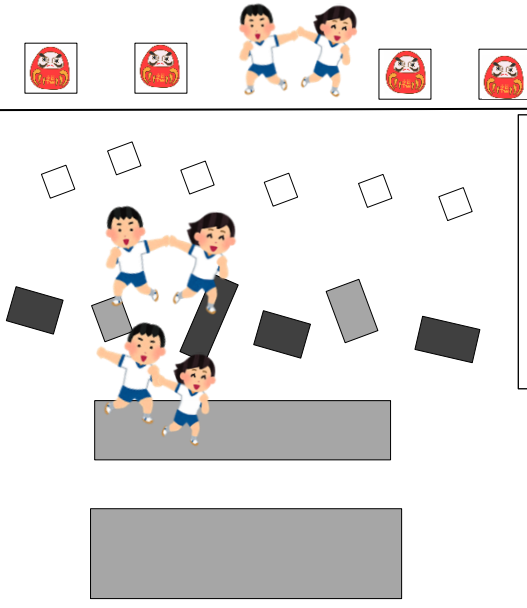


	1	2・3	4
学習の展開と学習活動	挑戦課題 落ちずにいられるかどうか		
	1 体ほぐしをする。（「だるまさんがおどった」） 2 「だるまさんがころんだ」に取り組む。  3 挑戦課題と問いを共有する。 問い 落ちないようにバランスをとるにはどうすればいいかな？  4 問いを振り返り、共有する。 5 再度、「だるまさんがころんだ」に取り組む。 6 まとめをする。（ラストバランス） 7 学習の振り返りをする。 板 ジョイントマット ブロック マット	1 体ほぐしをする。（「だるまさんがおどった」） 2 問いを共有する。 問い 落ちないようにバランスをとるにはどうすればいいかな？ 3 「だるまさんがころんだ」に取り組む。  4 問いを振り返り、共有する。 5 再度、「だるまさんがころんだ」に取り組む。 6 まとめをする。（ラストバランス） 7 学習の振り返りをする。	1 体ほぐしをする。（「だるまさんがおどった」） 2 問いを共有する。 3 「だるまさんがころんだ」に取り組む。  4 問いを振り返り、共有する。 5 再度、「だるまさんがころんだ」に取り組む。 6 まとめをする。（ラストバランス） 7 学習の振り返りをする。 〈追加の行い方〉 ・ペアで行う。 ・鬼も2人でポーズをとる。 ・ペアと手が離れたり、落ちたりしたら1つ前に戻
	追究のための手がかり		
	・体の使い方		
	・体の部位		
の学び	・ 「だるまさんがころんだ」をする中で、落ちないようにバランスをとる体の使い方を試行錯誤する。		
主な教師の支援	・ 実際に全員で遊ぶことで、行い方を確認することができるようにする。また、「落ちずに」にこだわることで、うまくバランスをとる必要があるという意識をもつことができるようにする。		・ 板や積み木など高さや面積の違う物を置くことで、その場の状況に応じた体の使い方を工夫することができるようにする。
	・ 自分に合ったバランスのとり方をしている児童の姿を共有したり、教師が称揚したりすることで、より多様なバランスのとり方を試すことができるようにする。		
計画評価	・ 毎時間、授業の始めに「だるまさんがおどった」を踊ることで、学習内容に合った準備運動をし、学習への意欲を高めることができるようにする。		・ 板や積み木など高さや面積の違う物を置くことで、その場の状況に応じた体の使い方を工夫することができるようにする。
	・ バランスをとるために意識した体の部位にシールを貼ることで、子どもたちはその部分を意識しながら遊ぶことができるようにする。		
計画評価	・ 様々な体の使い方を示したポーズカードを掲示しておき、子どもが自由に選択したり、ポーズを変化させたりすることで、主体的にバランス遊びを楽しむことができるようにする。		・ 自分に合ったバランスのとり方をしている児童の姿を共有したり、教師が称揚したりすることで、より多様なバランスのとり方を試すことができるようにする。
	・ 体の使い方を意識できるような声掛けを続けることで自分なりのバランスのとり方を振り返ったり、工夫したりすることができるようにする。		
計画評価	ア・サ	イ・カ・キ・サ	イ・カ

